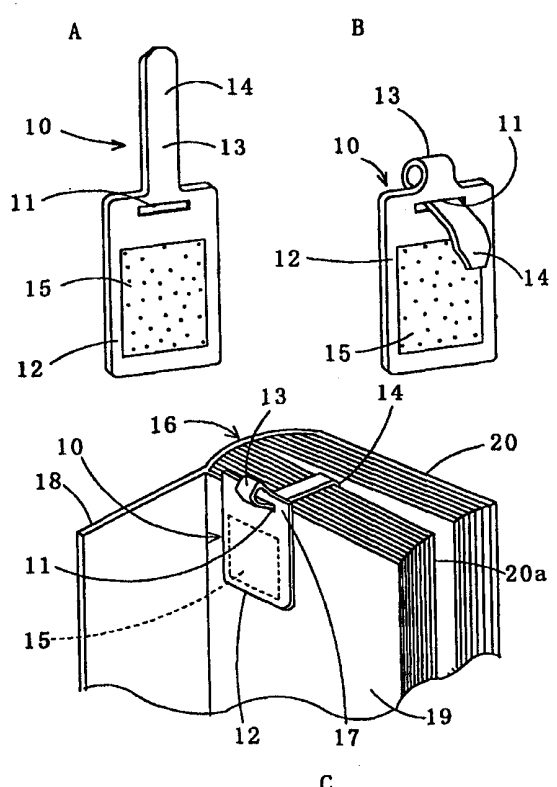


(51) 国際特許分類6 B42D 9/02	A1	(11) 国際公開番号 WO99/38708 (43) 国際公開日 1999年8月5日 (05.08.99)									
(21) 国際出願番号 PCT/JP99/00341 (22) 国際出願日 1999年1月27日 (27.01.99) (30) 優先権データ <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">特願平10/33771</td> <td style="width: 30%;">1998年1月31日 (31.01.98)</td> <td style="width: 40%;">JP</td> </tr> <tr> <td>特願平10/239544</td> <td>1998年8月10日 (10.08.98)</td> <td>JP</td> </tr> <tr> <td>特願平10/377326</td> <td>1998年12月30日 (30.12.98)</td> <td>JP</td> </tr> </table> (71) 出願人 ; および (72) 発明者 松本尚美 (MATSUMOTO, Naomi) [JP/JP] 〒871-0025 大分県中津市大字万田562番地の2 Oita, (JP) (72) 発明者 ; および (75) 発明者 / 出願人 (米国についてのみ) 松本伸介 (MATSUMOTO, Shinsuke) [JP/JP] 〒871-0025 大分県中津市大字万田562番地の2 Oita, (JP) (74) 代理人 弁理士 中前富士男 (NAKAMAE, Fujio) 〒802-8691 福岡県北九州市小倉北区浅野2丁目13番23号 幹線ビル401号 Fukuoka, (JP) (81) 指定国 AL, AU, BA, BB, BG, BR, CA, CN, CU, CZ, EE, GE, HR, HU, ID, IL, IS, KR, LC, LK, LR, LT, LV, MG, MK, MN, MX, NO, NZ, PL, RO, SG, SI, SK, SL, TR, TT, UA, US, UZ, VN, YU, 欧州特許 (AT, BE, CH, CY, DE, DK, ES, FI, FR, GB, GR, IE, IT, LU, MC, NL, PT, SE), OAPI特許 (BF, BJ, CF, CG, CI, CM, GA, GN, GW, ML, MR, NE, SN, TD, TG), ARIPO特許 (GH, GM, KE, LS, MW, SD, SZ, UG, ZW), ユーラシア特許 (AM, AZ, BY, KG, KZ, MD, RU, TJ, TM) 添付公開書類 国際調査報告書			特願平10/33771	1998年1月31日 (31.01.98)	JP	特願平10/239544	1998年8月10日 (10.08.98)	JP	特願平10/377326	1998年12月30日 (30.12.98)	JP
特願平10/33771	1998年1月31日 (31.01.98)	JP									
特願平10/239544	1998年8月10日 (10.08.98)	JP									
特願平10/377326	1998年12月30日 (30.12.98)	JP									
(54) Title: AUTOMATIC INSERTION BOOKMARK (54) 発明の名称 自動挿入しおり (57) Abstract An automatic insertion bookmark (10) having a bookmark part (14) automatically inserted to an open page (20a) of a book (16), comprising a fixed part (12) fixed in advance or at the time of use to the back cover (18), the front cover (20) or a page (19) directly adjoining the covers of the book (16), a connection part (13) provided above, and connected at the base thereof with the fixed part (12), and the bookmark part (14) connected to the tip portion of the connection part (13), wherein, when the automatic insertion bookmark (10) is used, the bookmark part (14) is bent downward at its connection portion with the connection part (13) to face downward opposite the fixed part (12).											
											

(57)要約

書籍 16 の開いた頁 20 a に自動的にしおり部 14 が挿入される自動挿入しおり 10 である。書籍 16 の裏表紙 18、表表紙 20、又はこれらの直近の頁 19 に、予め固定される又は使用時に固定される固定部 12 を備え、この固定部 12 の上部に、その基部が連結される連結部 13 を連結し、更に連結部 13 の先部にしおり部 14 を連結している。そして、この自動挿入しおり 10 の使用にあつては、しおり部 14 が連結部 13 との接続部分で下方に折り曲げられて、しおり部 14 が固定部 12 と対向して下方を向いている。

PCTに基づいて公開される国際出願のパンフレット第一頁に掲載されたPCT加盟国を同定するために使用されるコード(参考情報)

AE アラブ首長国連邦	ES スペイン	LI リヒテンシュタイン	SG シンガポール
AL アルバニア	FI フィンランド	LK スリ・ランカ	SI スロヴェニア
AM アルメニア	FR フランス	LR リベリア	SK スロヴァキア
AT オーストリア	GA ガボン	LS レソト	SL シェラ・レオネ
AU オーストラリア	GB 英国	LT リトアニア	SN セネガル
AZ アゼルバイジャン	GD グレナダ	LU ルクセンブルグ	SZ スワジランド
BA ボスニア・ヘルツェゴビナ	GE グルジア	LV ラトヴィア	TD チャード
BB バルバドス	GH ガーナ	MC モナコ	TG トーゴ
BE ベルギー	GM ガンビア	MD モルドヴァ	TJ タジキスタン
BF ブルキナ・ファソ	GN ギニア	MG マダガスカル	TM トルクメニスタン
BG ブルガリア	GW ギニア・ビサウ	MK マケドニア旧ユーゴスラヴィア	TR トルコ
BJ ベナン	GR ギリシャ	共和国	TT トリニダード・トバゴ
BR ブラジル	HR クロアチア	マリ	UA ウクライナ
BY ベラルーシ	HU ハンガリー	ML モンゴル	UG ウガンダ
CA カナダ	ID インドネシア	MN モーリタニア	US 米国
CF 中央アフリカ	IE アイルランド	MR マラウイ	UZ ウズベキスタン
CG コンゴ	IL イスラエル	MX メキシコ	VN ヴィエトナム
CH スイス	IN インド	NE ニジェール	YU ユーゴスラビア
CI コートジボアール	IS アイスランド	NL オランダ	ZA 南アフリカ共和国
CM カメルーン	IT イタリア	NO ノールウェー	ZW ジンバブエ
CN 中国	JP 日本	NZ ニュー・ジーランド	
CU キューバ	KE ケニア	PL ポーランド	
CY キプロス	KG キルギスタン	PT ポルトガル	
CZ チェッコ	KP 北朝鮮	RO ルーマニア	
DE ドイツ	KR 韓国	RU ロシア	
DK デンマーク	KZ カザフスタン	SD スーダン	
EE エストニア	LC セントルシア	SE スウェーデン	

明 細 書

自動挿入しおり

技術分野

本発明は、書籍に取付けられて、読書中の頁にしおり部が自動的に挿入される自動挿入しおりに関する。

背景技術

一般に、読書をする人は読書を中断して書籍を閉じる場合、次に中断した頁がすぐ判るように頁間にしおりを挟んだり、その頁に折り目を入れている。ところが、多忙な現代人は通学、通勤途中や待ち時間等の細切れな時間に読書を行なっているケースが多く、しおりを入れ忘れ、読書を再開したら同じ頁を繰り返し読むことがしばしばある。このような不都合を解決するために、書籍を読むのを中断する時に、最後に開いた頁に自動的にしおりが挿入される自動挿入しおりが提案されている。

このような自動挿入しおりとして、例えば、日本国実用新案公開公報平6-83363号公報には、角型C字形状の切り込みを有する固定板と、該固定板の一側上部に側方向に延長して設けられる帯状の弾力板と、該弾力板の先側下部に設けられた舌片とを備えた自動挿入しおりが提案されている。この自動挿入しおりの使用にあつては、固定板を前記切り込みを利用して書籍に固定すると共に舌片を開いた頁に載置する。この状態で、書籍の頁を開いた場合には自動的に舌片が次頁上に載ることになり、書籍を閉じた場合にはそのままその頁に保持されて、自動挿入しおりとなる。

しかしながら、この公報で提案されている自動挿入しおりにおいては、矩形状の固定板、帯状の弾力板及び舌片は、一枚のシートに形成され

て全体として平面状になっているので、読んで捲る頁の枚数が多い場合には、固定板と舌片との間に多数の頁があることになり、弾力板がS字状に屈曲して曲げ応力や捩じり応力がかかるので、舌片が確実に開いた頁に追従できなくなるという問題があった。

更には、固定板の上部及び弾力板の全部は書籍の上端からはみ出るので、見た目が悪いという問題もあった。

また、日本国特許公開公報昭63-21192号公報においては、独立分離した固定部材に、適当長さの伸縮自在の素材からなる糸状物を懸架し、固定部材を書籍の表紙の角から少し離れた場所に固定し、これらを結ぶ糸状物を書籍の所定の頁の角部を覆うようにしてかけ渡す自動挿入しおりが提案されている。

ところが、この公報で提案されている自動挿入しおりにおいては、2つの固定部材を書籍に取付ける必要があって取付けが面倒であり、更には、弾性部材からなる糸状物がある程度緊張状態で取付ける必要があるので、書籍が薄い場合には、糸状物によって書籍の角部が引っ張られ、しわや曲がり癖が発生する場合があるという問題があった。

発明の開示

本発明はこのような事情に鑑みてなされたもので、書籍が薄い場合や厚い場合にも支障なく使用でき、読書中の開いた頁を閉じた場合には、確実にその頁にしおりが挿入される自動挿入しおりを提供することを目的とする。

前記目的に沿う本発明に係る自動挿入しおりは、書籍の開いた頁の上部に自動的にしおり部が挿入される自動挿入しおりであって、前記書籍に固定される固定部、読書中の頁間に挿入される前記しおり部、及び前

記固定部と前記しおり部を連結する連結部とを有する。そして、前記連結部は前記固定部の上部にその基部が連結されていると共に、前記連結部は該連結部と前記固定部との接続部分又はその近傍で折り曲げられ、前記しおり部は前記連結部と該しおり部との接続部分又はその近傍で折り曲げられて、前記しおり部が前記固定部と対向して下方を向いている。即ち、前記固定部、連結部及びこれに続くしおり部が、使用状態では側面視して全体として逆U字形状をしている。

このように構成することによって、前記固定部を、例えば、書籍の表表紙又は裏表紙又はこれらの直近の頁の上部に固定すると、しおり部が自動的に開いた頁の上に載り、頁を開くと更に開いた頁の上に載る。そして、読書を止めて書籍を閉じると、閉じた頁の部分にしおり部が自動的に挿入される。

ここで、前記自動挿入しおりの固定部の表側又は裏側には、該固定部を前記書籍の表表紙又は裏表紙若しくはその直近の頁に仮固定又は固定する接着剤層が形成されているのが好ましく、これによって、簡単に固定部を書籍の所定の場所に固定できる。なお、固定部を仮固定するとは、書籍に貼着された固定部を外して、再度別な書籍の所定位置に貼着でき、繰り返しこの自動挿入しおりを使用できる状態をいう。また、この自動挿入しおりの材質は、通常のしおりと同様、ある程度曲げることができると共に弾力性を有する紙を使用するのが好ましいが、柔軟性を有するプラスチックシート、特別な場合には金属板によって構成することもできる。

また、本発明の自動挿入しおりにおいて、連結部と連結される固定部の上部には、しおり部及び前記連結部を挿通可能な横長孔からなる挿通孔を形成し、前記連結部の部分で折り返された状態で、前記しおり部及

びこれに続く前記連結部が前記挿通孔に挿通するようにすることも可能である。これによって、しおり部が書籍に対して下方向を向き易くなるので、連結部としおり部との接続部分に確実な折り目を形成することなく、しおり部を開いた頁上に載置することができる。

ここで、本発明に係る自動挿入しおりにおいて、固定部、連結部及びしおり部は、書籍の表表紙、裏表紙又はこれらの直近の頁の上部に前記固定部の基部が接続する状態で、その輪郭が切り抜き形成され、使用にあつては、前記固定部の基部を折り返すことによって、前記固定部の上部に形成されている前記挿通孔を前記書籍の上端から突出させるようにすることも可能である。これによって、各書籍にこれらの自動挿入しおりが、製造の過程で取付けられることになる。そして、使用中のこの自動挿入しおりを紛失する等のトラブルを無くせる。

更には、本発明に係る自動挿入しおりにおいて、連結部及びこれに続くしおり部を、一枚のシートからなる固定部内に、前記連結部の基部が該固定部の上部に折り曲げ可能に連結した状態で切り込み形成し、使用にあつては、前記しおり部及び前記連結部を前記固定部から引き出すことによって、所定形状の前記連結部及び前記しおり部を形成するようにしてもよい。このように自動挿入しおりを構成することによって、一枚の紙にプレスにより切り込みを形成することによって、この自動挿入しおりが製造できる。

また、本発明に係る自動挿入しおりにおいて、連結部及びこれに連結されるしおり部は、一体となって連結されている固定部と前記連結部との接続部分又はその近傍の連結部を折り返して曲げ、更に折り返した前記連結部の中間位置で前記折り返し方向とは反対側に曲げ、該連結部の先部に曲げた状態で接続する前記しおり部を下向きに保持して構成する

ことも可能である。これによって、極めて簡便に製造及び使用が可能な自動挿入しおりを提供できる。

なお、以上の自動挿入しおりにおいて、固定部、連結部及びしおり部は一枚のシートに連続状態で形成することが好ましく、これによってより安価に自動挿入しおりを製造することが可能となる。

一方、本発明の自動しおりにおいて、連結部及びこれに続くしおり部を、一枚のシートからなる固定部とは別シートから構成し、前記連結部の基部を前記固定部の上部に固着することもできる。これによってしおり部が固定部の下方向を向くので、固定部と連結部の境界部分、及び連結部としおり部の境界部分の折り曲げ角度が小さくなり、結果として小さな曲げで書籍の中にしおり部がより挿入されやすくなり、更には挿入されたしおり部が書籍から外れることが少ない自動挿入しおりを提供できる。

図面の簡単な説明

図 1 (A) ～ (C) は本発明の第 1 の実施例に係る自動挿入しおりの説明図、図 2 (A) ～ (C) は同自動挿入しおりの使用状態を説明する断面図、図 3 (A)、(B) は本発明の第 2 の実施例に係る自動挿入しおりの説明図、図 4 は本発明の第 3 の実施例に係る自動挿入しおり斜視図、図 5 (A)、(B) は同自動挿入しおりの使用状態を示す斜視図、図 6 (A) ～ (C) は本発明の第 4 の実施例に係る自動挿入しおりの使用状態を示す説明図、図 7 (A)、(B) は本発明の第 5 の実施例に係る自動挿入しおりの説明図である。

発明を実施するための最良の形態

図1 (A) ~ (C) に示すように、本発明の第1の実施例に係る自動挿入しおり10は、未使用状態では、弾力性を有する合成樹脂シート（又は紙、ゴムシート等）からなって、上部に挿通孔の一例である横長孔11を有する固定部12と、固定部12の上端中央に一体的に接続されている連結部13と、連結部13の上部に一体的に接続されるしおり部14とを有している。以下、これらについて詳細に説明する。

前記固定部12は四隅に円弧状の面取りが行われた長方形（例えば、横が約3~4cm、縦が4~5cm）のシートからなって、何れか一方の面には接着剤層15が形成されている。なお、未使用状態の接着剤層15の表面には合成樹脂シート等からなる保護シートが貼着され、この自動挿入しおり10を使用するときに保護シートを剥がして接着剤層15を露出させるようにしている。この接着剤層15は、好ましくは繰り返し使用可能な弱い接着力を有する接着剤を用いる。この接着剤層15の形成範囲は、図1 (C) に示すように、使用する場合に書籍16の上端から露出する部分17を除く固定部12の全面であってもよいが、図1 (A) に示すように、前記した露出する部分17を除き、固定部12の周囲から約3~4mm程度の非接着剤塗布部を残す部分であってもよい。

前記固定部12の上端中央には連結部13及びしおり部14が一体的に接続されている。この連結部（弾性部でもある）13としおり部14とは約5~7mm程度の幅で帯状に形成されて、透明の合成樹脂シートを用いるのが好ましい。特にしおり部14の部分は書籍16の頁に被さり、不透明であると書籍を読むときに邪魔になるので合成樹脂等の透明シートで構成するのが好ましい。連結部13としおり部14の境界は明確には存在せず、しおり部14の先端は丸くなっている。この実施例で

は連結部 1 3 としおり部 1 4 の全長は 3 ～ 5 cm 程度であり、書籍が厚い場合には、更にその長さを長くしてもよい。

固定部 1 2 の上部には、しおり部 1 4 及びこれに続く連結部 1 3 が嵌入する横長孔 1 1 が形成されている。この横長孔 1 1 の横幅はしおり部 1 4 及び連結部 1 3 の幅より約 1 ～ 2 mm 程度大きくなって、これらが余裕を持って挿入できるようになっている。この実施例においては、横長孔 1 1 は上下方向に約 0.5 ～ 1.5 mm の隙間を有して構成したが、両側に 1 ～ 2 mm 高さの上向き切り込みを有する幅広溝形状の切り込みも本発明の横長孔に含まれる。この場合の切り込みの幅方向長さは、連結部 1 3 の横幅より少し幅広いことになり、上下方向には隙間は殆どないことになる。

この自動挿入しおり 1 0 を使用する場合には、図 1 (C) に示すように、接着剤層 1 5 を露出させた状態で、書籍 1 6 の裏表紙 1 8 (又は表表紙 2 0) を捲った頁、即ち直近の頁 1 9 の上部に固定部 1 2 を接着剤層 1 5 を介して貼着する。この場合、固定部 1 2 の上部に設けられている横長孔 1 1 は書籍 1 6 の上端から更に上方に露出するようにしておく。次に、図 1 (B)、(C) に示すように、しおり部 1 4 及びこれに続く連結部 1 3 を徐々に折り返してしおり部 1 4 の先端を横長孔 1 1 に挿通し、しおり部 1 4 を引っ張り、連結部 1 3 の基部が折り返されて横長孔 1 1 に挿通するようにする。そして、図 2 (A) に示すように、連結部 1 3 又はしおり部 1 4 の部分に折り癖を付けて、書籍 1 6 の所定の頁間に入れ込む。

この状態で、図 2 (B) に示すように書籍 1 6 の頁を進めると、自動的に開いた頁 2 0 b にしおり部 1 4 が被さり、書籍 1 6 の開いた頁間にしおり部 1 4 が挿入される。そして、図 2 (C) に示すように、書籍 1

6を閉じると、しおり部14が閉じた頁間に残るので、次に書籍16を読む場合には、しおり部14が挿入されている頁20bから書籍を読めばよいことになる。

なお、この実施例においては、固定部12は書籍16の裏表紙18を捲った頁部分（直近の頁19）に取り付けたが、裏表紙18に直接取り付けられることもできるし、場合によっては、表表紙20側に取り付けることもできる。

このように、この自動挿入しおり10においては、連結部13の部分を横長孔11に挿入して使用しているので、しおり部14が固定部方向を向きやすく、結果として書籍16の頁間に挿入したしおり部14が外れにくいという利点がある。

次に、図3（A）、（B）に示す本発明の第2の実施例に係る自動挿入しおり21について説明する。なお、前記実施例に係る自動挿入しおり10と同一の構成要素については同一の番号を付してその詳しい説明を省略する（以下の実施例においても同様）。

第2の実施例に係る自動挿入しおり21は、書籍16の裏表紙18（又は表表紙20）から直近の頁25（即ち、裏表紙18を捲った頁）に固定部26及びこれに一体的に接続する連結部13及びしおり部14の輪郭が切り抜き形成されている。そして、固定部26には接着剤層は形成されておらず、その基部が直近の頁25に折り曲げ線27によって連接されている。なお、この折り曲げ線27は必ずしも予め形成しておく必要はない。固定部26の形成位置は、図3（B）に示すように、固定部26を折り返したときに、固定部26の上部に形成されている横長孔11が書籍16の上端から露出する位置に形成しておく。なお、符号28はこの自動挿入しおり21の切り抜き線を示す。

前記自動挿入しおり 2 1 を使用する場合には、切り抜き線 2 8 の部分で形成される固定部 2 6 及びこれに続く連結部 1 3、しおり部 1 4 を引き出し、折り曲げ線 2 7 の部分で折り返して固定部 2 6 を立てた状態にする。次に、しおり部 1 4 及び連結部 1 3 を横長孔 1 1 に挿通して、しおり部 1 4 をその基部から折り曲げ、読んでいる書籍 1 6 の捲った（開いた）頁 2 0 a 部分に挿入する。これによって、読んだ頁へのしおり部 1 4 の自動挿入が行われる。

続いて、図 4、図 5 に示す本発明の第 3 の実施例に係る自動挿入しおり 3 0 について説明する。図 4 に示すように、自動挿入しおり 3 0 は、弾力性及び柔軟性を有する一枚の合成樹脂シート、又は紙材からなって、書籍に貼着する固定部 3 1 と、固定部 3 1 の上部位置に折り曲げ可能に接続される連結部 3 2 と、連結部 3 2 の先側に一体的に接続されるしおり部 3 3 とを有している。

前記固定部 3 1 は、第 1 の実施例に係る自動挿入しおり 1 0 と略同様な大きさとなって、上部に固定部 3 1 の本体より幅狭の突出部 3 4 を有している。そして、固定部 3 1 の本体の表面又は裏面側の左右には、繰返し接合可能な接着剤層 3 5、3 6 が形成されている。なお、この接着剤層 3 5、3 6 の表面には、通常、保護シートが貼着されて、使用時にこの保護シートを剥がして接着剤層 3 5、3 6 を露出できるようになっている。

帯状の前記連結部 3 2 及びしおり部 3 3 は、固定部 3 1 の中央に切り抜き可能に配置されていると共に、連結部 3 2 の基端は前記突出部 3 4 に折り曲げ可能に連結されている。従って、この自動挿入しおり 3 0 の使用にあっては、図 4 に示すように、連結部 3 2 及びしおり部 3 3 を固定部 3 1 から押し出し、連結部 3 2 の基端を折り曲げ線 3 7 に沿って略

直角に曲げ、連結部 3 2 としおり部 3 3 の境界部分を折り曲げる。この状態で、図 5 (A)、(B) に示すように、固定部 3 1 を書籍 1 6 の表表紙 2 0 又は裏表紙 1 8 あるいはこれらの直近の頁の上部に、接着剤層 3 5、3 6 を用いて固定し、しおり部 3 3 を所定の頁 2 0 a、即ち、読んでいる頁又は次の頁の上に載せて使用する。書籍 1 6 を閉じた場合には、図 5 (B) に示すように、しおり部 3 3 が閉じた頁間に自動的に挿入される。

次に、図 6 に示す本発明の第 4 の実施例に係る自動挿入しおり 4 0 について説明する。図 6 (A) ～ (C) に示すように、自動挿入しおり 4 0 は、弾力性及び柔軟性を有する合成樹脂シート、又は紙材からなって固定部 4 1 と、固定部 4 1 の上部中央に接続される連結部 4 2 と、連結部 4 2 の先側に一体的に接続されるしおり部 4 3 とを有している。

固定部 4 1 は第 1 の実施例に係る自動挿入しおり 1 0 の固定部 1 2 と略同一の大きさとなって、表面又は裏面側には、繰り返し接合可能な接着剤層 4 4 を有している。この自動挿入しおり 4 0 の使用にあっては、図 6 (B) に示すように、連結部 4 2 の基部を丸く折り曲げて折り返すと共に、折り返した連結部 4 2 を更にその中間位置で外側に略直角曲げる。この曲げ癖を連結部 4 2 に付与することによって、連結部 4 2 が下向きになる。そして、連結部 4 2 の先部に接続されているしおり部 4 3 を更に下向きに曲げる。この状態で、接着剤層 4 4 を露出させた状態で、書籍 1 6 の表表紙 2 0 又は裏表紙 1 8 あるいはこれらの直近の頁 1 9 の上部に接着剤層 4 4 を用いて固定部 4 1 を貼着し、図 6 (C) に示すように、しおり部 4 3 を開いた頁 2 0 a の上に載せる。これによって、書籍 1 6 を閉じた場合には、最後に開いていた頁の部分に挿入される。

なお、この自動挿入しおり 4 0 においては、連結部 4 2 の基端部分を直角に折り曲げ、更にしおり部 4 3 を下向きに折り曲げて使用する場合であっても、本発明は適用される。

この自動挿入しおり 4 0 においては、自動的に開いた頁 2 0 a にしおり部 4 3 を載せるには、使用時に連結部 4 2 の基端側に折り癖を付ける必要があるが、前記した第 1 ～第 3 の実施例に係る自動挿入しおり 1 0、2 1、3 0 においては、固定部に対する連結部の取り付け方向が下向きであるので、自然な状態で、しおり部が下向きとなり、頁間に挿入され易いという利点がある。

次に、図 7 を参照しながら、本発明の第 5 の実施例に係る自動挿入しおり 4 6 について説明する。図 7 に示すように、自動挿入しおり 4 6 は弾力性及び柔軟性を有する合成樹脂シート、又は紙材からなって、一枚のシートからなる四角形の固定部 4 7 と、固定部 4 7 とは別シートとなって、固定部 4 7 の上部中央にその基部が貼着された連結部 4 8 と、連結部 4 8 の先側に一体的に連結されたしおり部 4 9 とを有している。固定部 4 7 の表面又は裏面には、接着剤層 5 0 が形成され、書籍等の所定の部分に繰り返し使用して貼着できるようになっている。連結部 4 8 及びしおり部 4 9 は一体となって接続し、帯状に形成されて、連結部 4 8 の基部が固定部 4 7 の上部中央に強い接着力を有する接着剤を用いて貼着されている。

この自動挿入しおり 4 6 を使用する場合には、図 7 (A) に示すように、連結部 4 8 及びこれに連結されているしおり部 4 9 を固定部 4 7 から起こし上げて、連結部 4 8 としおり部 4 9 の接続部分でしおり部 4 9 を下方に曲げる。次に、図 7 (B) に示すように、固定部 4 7 を書籍 1 6 の表表紙 2 0、裏表紙 1 8 又は直近の頁 1 9 に、固定部 4 7 の上部が

露出するようにして貼着し、しおり部 4 9 を所定の頁の上に載せる。これによって、頁を開いた場合には、自動的に次の頁にしおり部 4 9 が移動し、書籍 1 6 を閉じた場合には、最後に開いた頁にしおり部 4 9 が残ることになる。

前記それぞれの実施例においては、使用前の自動挿入しおりはそれぞれ平面状となって、使用する時に、連結部やしおり部の曲げ加工を行っているが、製造の過程において連結部やしおり部にある程度の曲げ加工を行っておくこともできる。

また、前記実施例においては、説明を容易にするために、具体的数字を用いて説明したが、この具体的数字や、各部分の形状に限定されるものではなく、また、固定部、連結部及びしおり部の各シートの厚みは図面上においては厚く表現しているが、実際にはより薄くて弾力性及び柔軟性を有し、更にはしおり部の部分については透明のものを使用するのが好ましい。

更には、前記実施例において、固定部の何れか一方の面に接着剤層を形成し、該接着剤層を介してこの自動挿入しおりを書籍に固定しているが、固定部をクリップ等の挟持取付け具を介して書籍に取付ける場合も本発明は適用される。

産業上の利用の可能性

本発明に係る自動挿入しおりは、以上のように構成されているので、書籍の裏表紙、表表紙又はその直近の頁に固定された固定部に接続する連結部及びしおり部が弾力性及び柔軟性を有して、開かれた頁の上部に被さるので、頁を開いた場合には自動的に次の頁の上に被さり、これによって、しおり部の自動挿入ができる。

従って、従来のように、読んだ頁にシート状物等からなるしおりを挿入する手間が省けると共に、挟んだしおりが書籍から不意に外れるという心配もない。

ここで、自動挿入しおりの固定部の表側又は裏側に接着剤層を形成し、この接着剤層を介して、固定部を書籍に固定した場合には、確実に書籍にこの自動挿入しおりを固定できる。この場合、接着剤層に接合強度の弱い接着剤（例えば、感圧性接着剤）を使用することによって、この自動挿入しおりを繰り返し使用できる。

また、自動挿入しおりの固定部の上部にしおり部及び連結部の挿通孔を設けて、この挿通孔に帯状のしおり部及び連結部を挿通することによって、しおり部が下向きとなり、これによって、書籍の頁を開く作業に際してより確実に読んだ頁の上に被さることになる。

ここで、本発明に係る自動挿入しおりを書籍の表表紙、裏表紙又はこれらの直近の頁の上部に固定部の基部が接続する状態で、その輪郭を切り抜き形成した場合には、書籍とは別途に自動挿入しおりを用意する必要がなく、更にはこの自動挿入しおりを紛失する等のトラブルも無くなる。

更には、本発明に係る自動挿入しおりにおいて、連結部及びこれに続くしおり部を、一枚のシートからなる固定部内に切り込み形成した場合には、少ない面積のシートから自動挿入しおりを安価に製造することができる。

これに対して、連結部及びこれに連結されるしおり部を、固定部の上部に一体的に接続させた自動挿入しおりの場合には、自動挿入しおりの製造にあっては、広い面積のシートを必要とするが、シートの内部に切り込みを入れる等の作業が不要となり、外側の輪郭をカットするのみで

自動挿入しおりが製造でき、作業工程が単純化される。

更に、連結部及びこれに続くしおり部を、一枚のシートからなる固定部とは別シートから構成した自動挿入しおりの場合には、しおり部が下方向を向くので、固定部と連結部の境界部分、及び連結部としおり部の境界部分の折り曲げ角度が小さくなり、結果として小さな曲げでより書籍の中にしおり部が挿入され易くなり、使い安い自動挿入しおりとなる。

。

請 求 の 範 囲

1. 書籍の開いた頁の上部に自動的にしおり部が挿入される自動挿入しおりであって、

前記書籍に固定される固定部、読書中の頁間に挿入される前記しおり部、及び前記固定部と前記しおり部を連結する連結部とを有し、しかも、前記連結部は前記固定部の上部にその基部が連結されていると共に、前記連結部は該連結部と前記固定部との接続部分又はその近傍で折り曲げられ、前記しおり部は前記連結部と該しおり部との接続部分又はその近傍で折り曲げられて、前記しおり部が前記固定部と対向して下方を向いていることを特徴とする自動挿入しおり。

2. 前記固定部の表側又は裏側には、該固定部を前記書籍の表表紙又は裏表紙若しくはその直近の頁に仮固定又は固定する接着剤層が形成されている請求項1記載の自動挿入しおり。

3. 前記連結部と連結される前記固定部の上部には、前記しおり部及び前記連結部を挿通可能な横長孔からなる挿通孔が形成され、前記連結部の部分で折り返された状態で、前記しおり部及びこれに続く前記連結部が前記挿通孔に挿通していることを特徴とする請求項2記載の自動挿入しおり。

4. 前記固定部、前記連結部及び前記しおり部は、前記書籍の表表紙、裏表紙又はこれらの直近の頁の上部に前記固定部の基部が接続する状態で、その輪郭が切り抜き形成され、使用にあっては、前記固定部の基部を折り返すことによって、前記固定部の上部に形成されている前記挿通孔を前記書籍の上端から突出させる請求項3記載の自動挿入しおり。

5. 前記連結部及びこれに続く前記しおり部は、一枚のシートからなる

前記固定部内に、前記連結部の基部が該固定部の上部に折り曲げ可能に連結した状態で切り込み形成され、使用にあっては、前記しおり部及び前記連結部を前記固定部から引き出すことによって、所定形状の前記連結部及び前記しおり部を形成する請求項 2 記載の自動挿入しおり。

6. 前記連結部及びこれに連結される前記しおり部は、一体となって連結されている前記固定部と前記連結部との接続部分又はその近傍の連結部を折り返して曲げ、更に折り返した前記連結部の中間位置で前記折り返し方向とは反対側に曲げ、該連結部の先部に曲げた状態で接続する前記しおり部を下向きに保持している請求項 2 記載の自動挿入しおり。

7. 前記連結部及びこれに続く前記しおり部は、一枚のシートからなる前記固定部とは別シートからなって、前記連結部の基部が前記固定部の上部に固着されている請求項 2 記載の自動挿入しおり。

FIG. 1

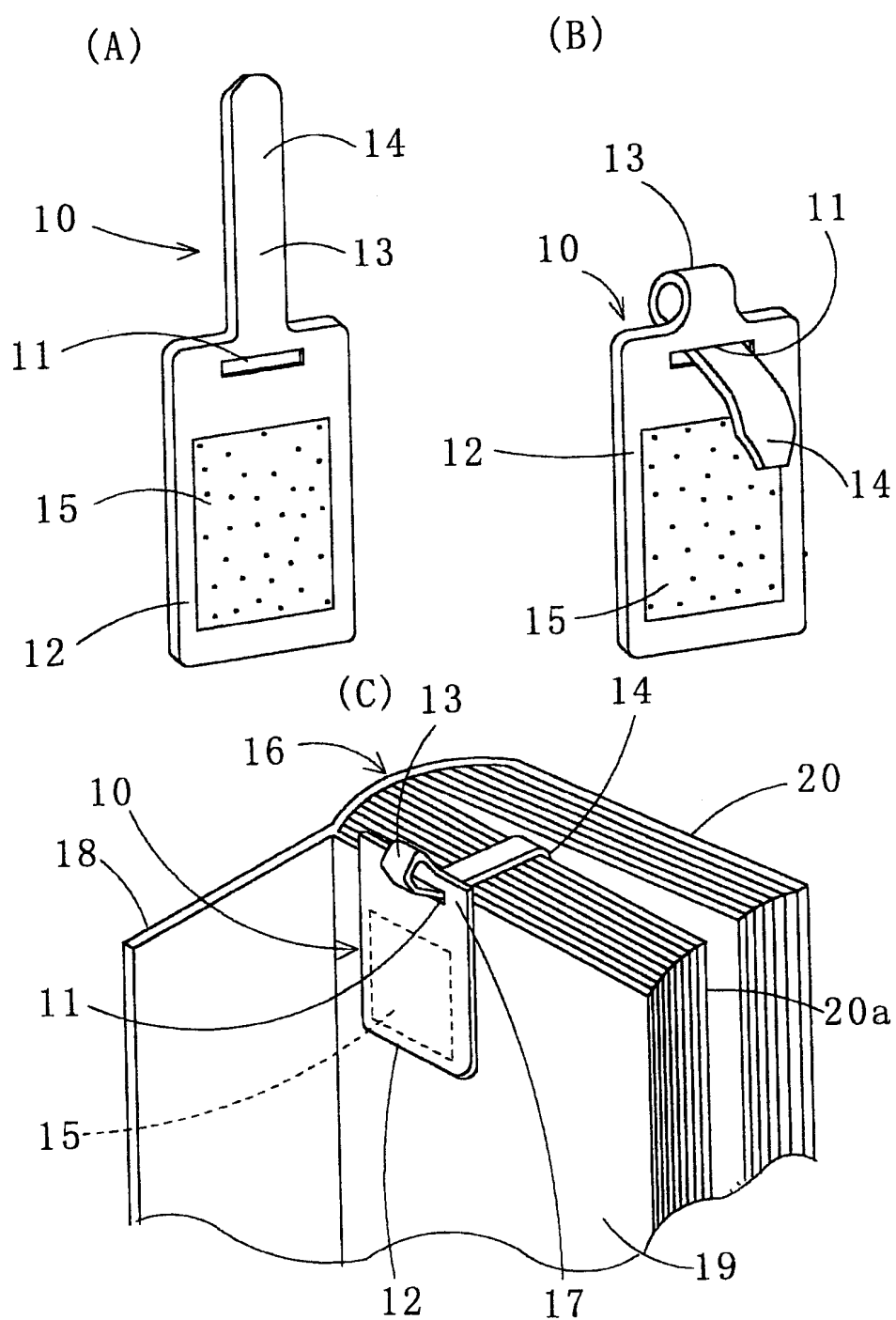


FIG. 2

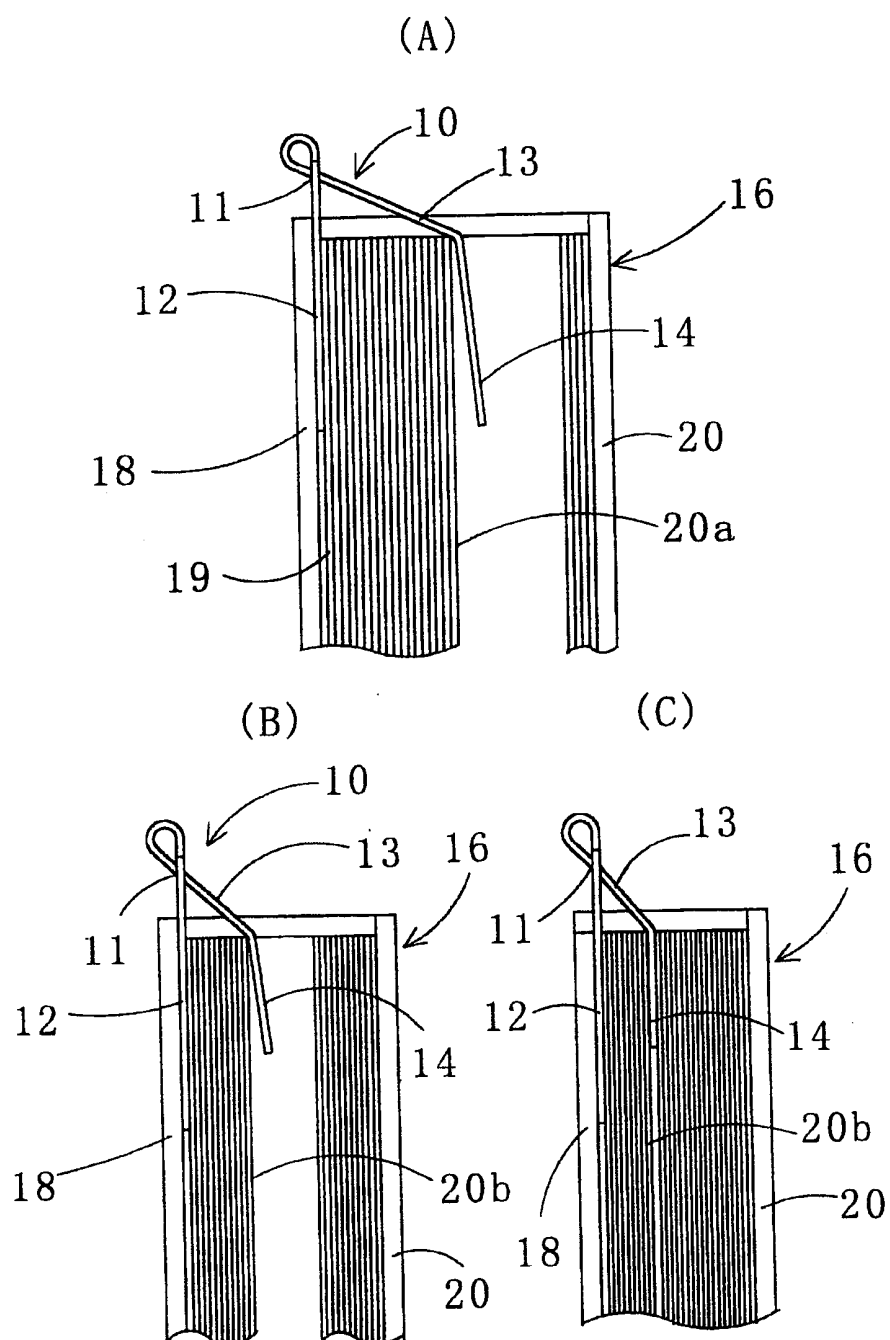


FIG. 3

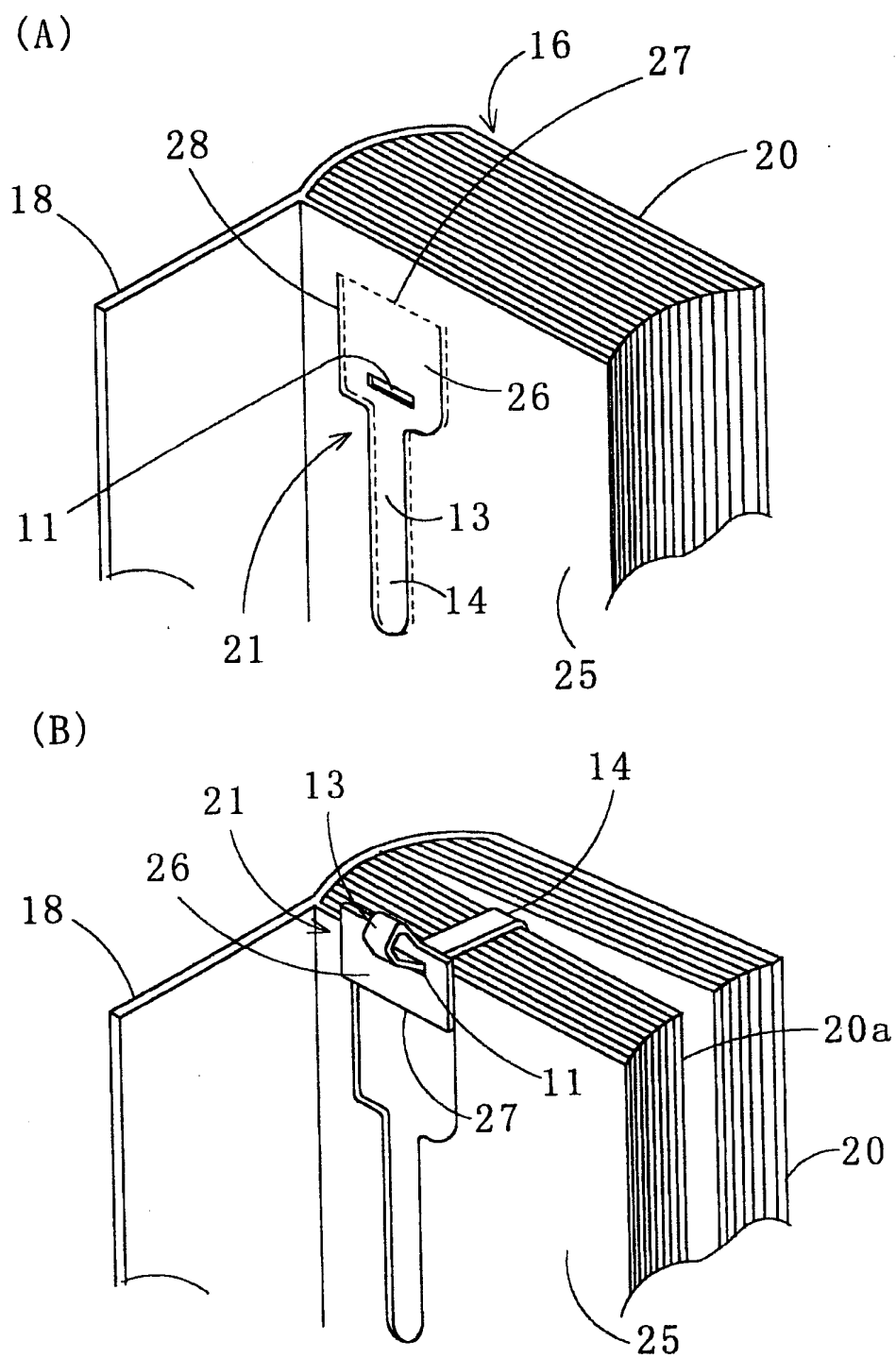


FIG. 4

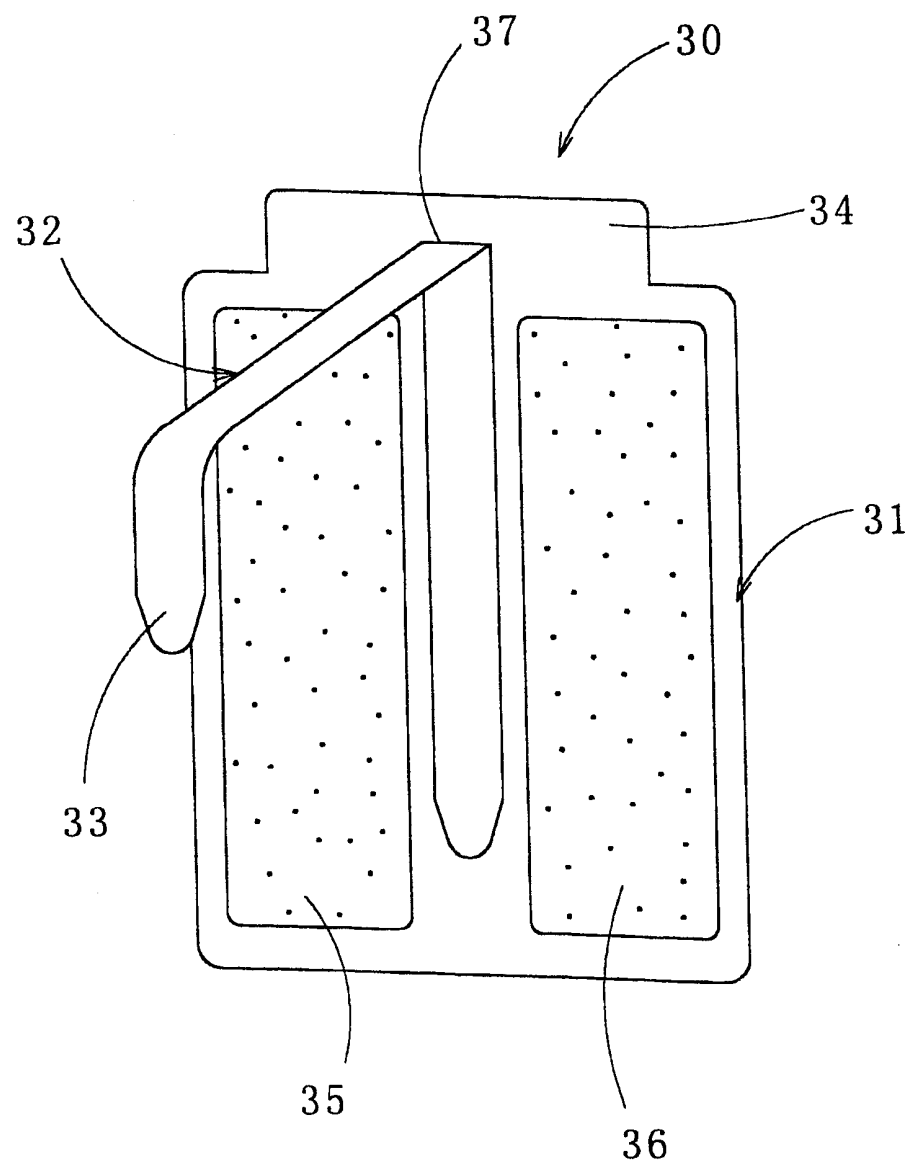


FIG. 5

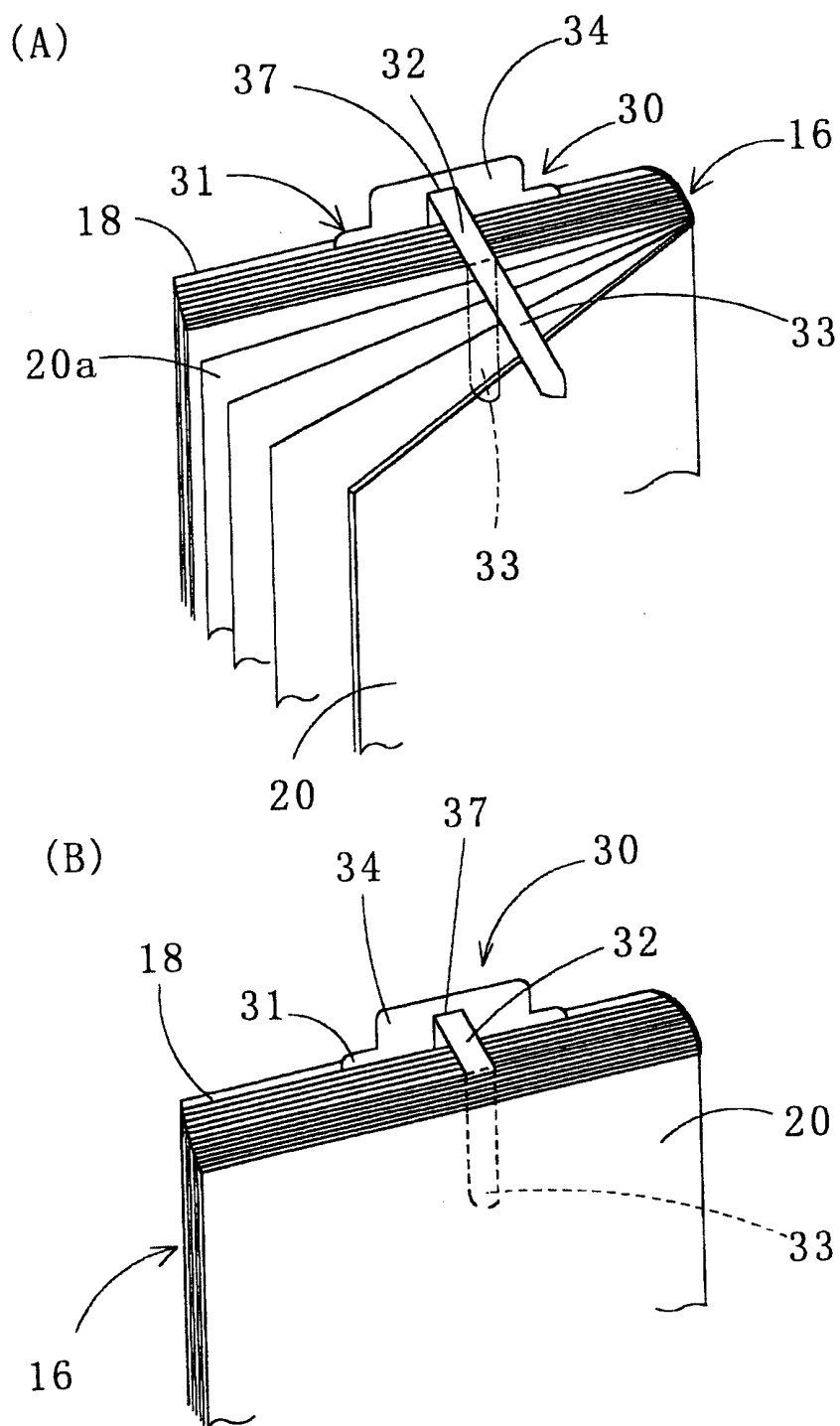


FIG. 6

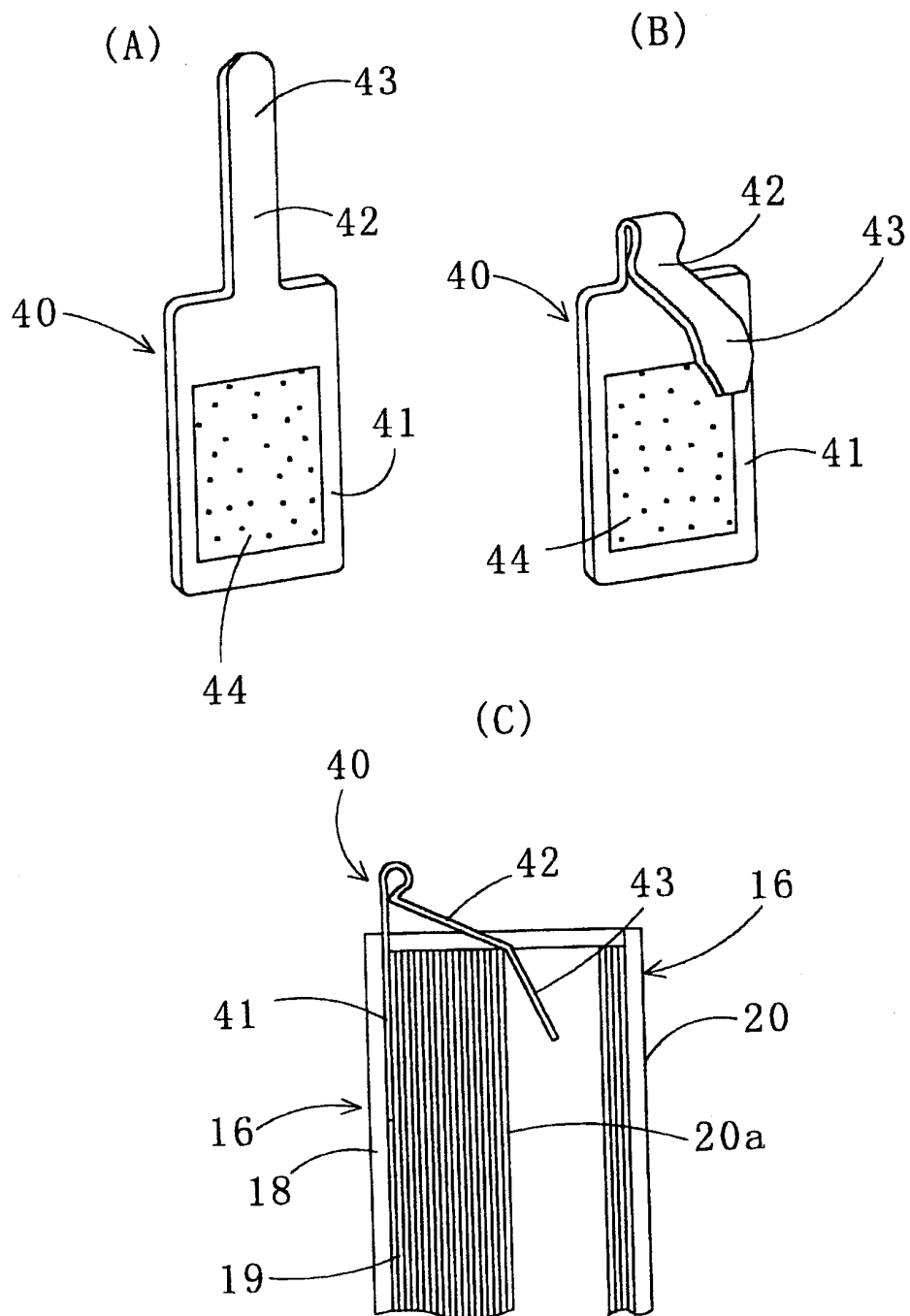
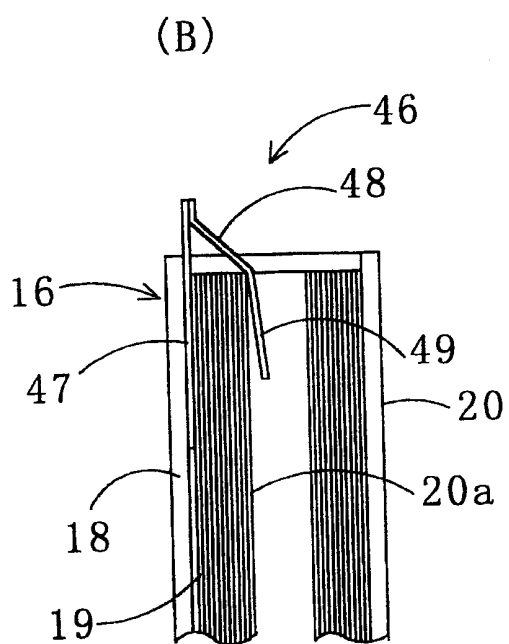
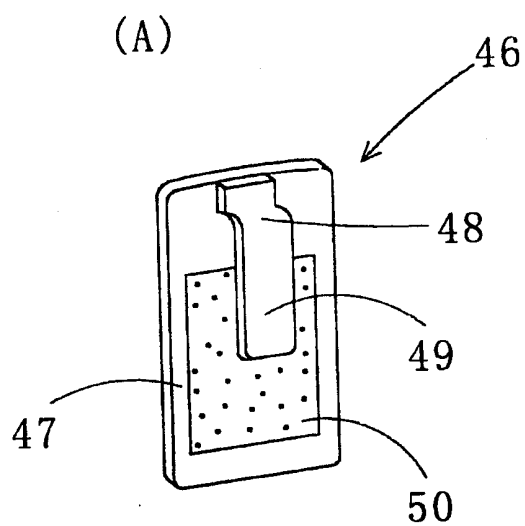


FIG. 7



INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.
PCT/JP99/00341

A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER

Int.Cl⁶ B42D9/02

According to International Patent Classification (IPC) or to both national classification and IPC

B. FIELDS SEARCHED

Minimum documentation searched (classification system followed by classification symbols)
Int.Cl⁶ B42D9/02

Documentation searched other than minimum documentation to the extent that such documents are included in the fields searched
Jitsuyo Shinan Koho 1922-1996 Toroku Jitsuyo Shinan Koho 1994-1999
Kokai Jitsuyo Shinan Koho 1971-1999 Jitsuyo Shinan Toroku Koho 1996-1999

Electronic data base consulted during the international search (name of data base and, where practicable, search terms used)

C. DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
X Y A	Microfilm of the specification and drawings annexed to the request of Japanese Utility Model Application No. 46-118583 (Laid-open No. 48-73057) (Shigeaki Suzuki), 12 September, 1973 (12. 09. 73), Full text ; Figs. 1 to 9 (Family: none)	1 2, 7 3-6
Y A	Microfilm of the specification and drawings annexed to the request of Japanese Utility Model Application No. 50-75938 (Laid-open No. 51-155948) (Noboru Akiba), 11 December, 1976 (11. 12. 76), Full text ; Figs. 1 to 3 (Family: none)	2, 7 1, 3-6
A	Microfilm of the specification and drawings annexed to the request of Japanese Utility Model Application No. 57-85879 (Laid-open No. 58-187461) (Noboru Akiba), 13 December, 1983 (13. 12. 83), Full text ; Figs. 1 to 9 (Family: none)	1-7

☐ Further documents are listed in the continuation of Box C. ☐ See patent family annex.

* Special categories of cited documents: "A" document defining the general state of the art which is not considered to be of particular relevance "E" earlier document but published on or after the international filing date "L" document which may throw doubts on priority claim(s) or which is cited to establish the publication date of another citation or other special reason (as specified) "O" document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other means "P" document published prior to the international filing date but later than the priority date claimed	"I" later document published after the international filing date or priority date and not in conflict with the application but cited to understand the principle or theory underlying the invention "X" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered novel or cannot be considered to involve an inventive step when the document is taken alone "Y" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered to involve an inventive step when the document is combined with one or more other such documents, such combination being obvious to a person skilled in the art "&" document member of the same patent family
--	---

Date of the actual completion of the international search
5 April, 1999 (05. 04. 99)

Date of mailing of the international search report
20 April, 1999 (20. 04. 99)

Name and mailing address of the ISA/
Japanese Patent Office

Authorized officer

Facsimile No.

Telephone No.

A. 発明の属する分野の分類 (国際特許分類 (IPC))
Int.Cl⁶ B 4 2 D 9/02

B. 調査を行った分野
調査を行った最小限資料 (国際特許分類 (IPC))
Int.Cl⁶ B 4 2 D 9/02

最小限資料以外の資料で調査を行った分野に含まれるもの

日本国実用新案公報 1922-1996年
日本国公開実用新案公報 1971-1999年
日本国登録実用新案公報 1994-1999年
日本国実用新案登録公報 1996-1999年

国際調査で使用した電子データベース (データベースの名称、調査に使用した用語)

C. 関連すると認められる文献

引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求の範囲の番号
X Y A	日本国実用新案登録出願46-118583号 (日本国実用新案登録出願公開48-73057号) の願書に添付した明細書及び図面の内容を撮影したマイクロフィルム (鈴木 重昭), 12.9月.1973 (12.09.73) 全文, 第1~9図 (ファミリーなし)	1 2, 7 3-6
Y A	日本国実用新案登録出願50-75938号 (日本国実用新案登録出願公開51-155948号) の願書に添付した明細書及び図面の内容を撮影したマイクロフィルム (秋葉 昇), 11.12月.1976 (11.12.76) 全文, 第1~3図 (ファミリーなし)	2, 7 1, 3-6

☒ C欄の続きにも文献が列挙されている。

☐ パテントファミリーに関する別紙を参照。

* 引用文献のカテゴリー

「A」 特に関連のある文献ではなく、一般的技術水準を示すもの
「E」 国際出願日前の出願または特許であるが、国際出願日以後に公表されたもの
「L」 優先権主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行日若しくは他の特別な理由を確立するために引用する文献 (理由を付す)
「O」 口頭による開示、使用、展示等に言及する文献
「P」 国際出願日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願

の日の後に公表された文献

「T」 国際出願日又は優先日後に公表された文献であって出願と矛盾するものではなく、発明の原理又は理論の理解のために引用するもの
「X」 特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明の新規性又は進歩性がないと考えられるもの
「Y」 特に関連のある文献であって、当該文献と他の1以上の文献との、当業者にとって自明である組合せによって進歩性がないと考えられるもの
「&」 同一パテントファミリー文献

国際調査を完了した日
05.04.99

国際調査報告の発送日 **20.04.99**

国際調査機関の名称及びあて先
日本国特許庁 (ISA/J P)
郵便番号100-8915
東京都千代田区霞が関三丁目4番3号

特許庁審査官 (権限のある職員)
砂川 充

2D 9231

電話番号 03-3581-1101 内線 6953

C (続き) . 関連すると認められる文献		
引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求の範囲の番号
A	日本国実用新案登録出願57-85879号（日本国実用新案登録出願公開58-187461号）の願書に添付した明細書及び図面の内容を撮影したマイクロフィルム（秋葉 昇），13.12月.1983(13.12.83) 全文，第1～9図（ファミリーなし）	1－7